

災害地の情報取得通信システムの概要

資料1-8

災害地の情報取得通信システム

- ・ 災害時のホワイトスペース活用として、災害ロボットの操縦や映像伝送、音声伝送の無線ネットワークを構築する。
- ・ 災害が発生した発電所や産業プラントなどに災害ロボットを運搬し、屋外の操作コンソールから建屋内の災害ロボットを制御して建屋内を走行し探索する。中継ロボットを介してプローブ・ロボットにアドホック通信を行うことにより、建屋内の見通し外通信が可能である。
- ・ 消防署、発電所、産業プラントなどに配備して、災害発生時に一時的に使用する。

主な技術仕様

項目	値(固定的な値の記載が難しい場合には範囲を記載下さい。)	補足
周波数帯	470~710MHz	
占有周波数帯幅	6MHz X N	N=1,2,3,4
変調方式	OFDM	
空中線電力	数百mW	建屋内
サービスエリア (伝搬距離)	約100 X 100 m ²	屋内
チャンネル数	2CH	Up link / Down link
アンテナの形状、利得、指向性、高さ	T.B.D.	
その他		

イメージ図

